

資料2 作業(設備)リスク評価表 (記入例: リスクレベルのもの)

【分類】
(1)補修(腐食、老朽化等)いわゆる補修の範疇)
(2)基準不適合(手摺りが低いなど現状の全社基準等に合致しない)
(3)上記以外(上記以外で災害が起きそうな危険作業・箇所)
(4)分類不能

【 傷害の大きさ】
致命傷 : 10点
重大災害 : 5点
中程度 : 3点
軽度 : 1点

【 傷害の可能性】
極めて高い : 6点
高い : 3点
有り : 1点
ほとんどない : 0点

【 危険な作業・行動の頻度】
頻繁(1日に何回も) : 3点
時々(1回/日~1回/週) : 2点
まれに(数週~数月に1回) : 1点
ほとんどない(1回/年以下) : 0点

【リスクレベル】
(許容できない) : 20~14点
(重大な問題あり) : 13~11点
(問題があり) : 10~8点
(許容できる) : 7~0点

チェック欄は対策が完了すればに変更する。(カット、手配中、費用不要のものも「」とする)

予算欄: ソフト対策実施の場合には「-」をインプット

チ ェ ッ ク	No	課名	分類	設備名/機番	作業・行動または設備	リスク評価							制限・優先順位			対 策 (対策を実施して評価点がどのように変化するのか明確にすること)	予算 千円			
						災害 モード	危険の内容	傷害の大きさ	傷害の可能性	作業・行動の頻度	評 価 点	リス ク レ ベル	(A) 優先 順位	(B) 定修時の 制限の 有無	(C) 制限有時 いつの定修					
	5	A課	(3)	用水	トンネル点検作業		暗い、酸欠	致命傷	10	高い	3	まれ	1	14		2	無		ガス検、酸素濃度計の設置	***
	15	B課	(3)		下流ボット行き液抜き弁操作		定修液抜き時、手摺り外のため転落のおそれあり	致命傷	10	極めて高い	6	ほとんどない	0	16		1	有	2004秋	液抜き弁移設	***
	16	B課	(3)		凝縮ラインドレン弁操作		位置が高所で手すり外のため転落のおそれあり	致命傷	10	極めて高い	6	ほとんどない	0	16		2	有	2004秋	ドレン弁移設	***
	36	C課	(3)	攪拌機付槽	内部作業		槽内作業時、連絡ミスに起因する攪拌機起動による巻き込まれ	致命傷	10	極めて高い	6	ほとんどない	0	16		3	不明		分電盤にキー設置など(工場標準に合わせたい)	
	67	D課	(3)	HTS検尺	HTSの流出		HTS検尺で開口時、中から熱風とN ₂ 流出、HTS有機溶剤混入	致命傷	10	高い	3	まれ	1	14		1	有	2005春	液面計の設置で傷害の可能性と頻度がゼロ化できる	***
	96	E課	(3)	セルトラック	セルトラックの運搬		レールポイント等の不良による暴走	致命傷	10	高い	3	頻繁	3	16		1	有	2004夏	通行帯整備、スピード警報機取付け、基準書改定・教育	***
	114	F課	(3)	R	槽内掃除		槽内掃除作業で転倒・転落	重大災害	5	極めて高い	6	頻繁	3	14		-	無		安全帯着用と、はつりカスのこまめな水洗	0
	135	G課	(3)	乾燥	バグフィルタ交換		足場が充分でなく、転落(命網着用作業)	致命傷	10	高い	3	まれ	1	14		1	無		点検用足場作成 評価点 9、リスクレベル	***
	159	H課	(3)		サンプリング時、落した容器を拾う		オーバーフローフィーダーにてサンプリング時、容器を落とす際に拾おうとして手を入れベルトに巻き込まれる	重大災害	5	極めて高い	6	頻繁	3	14		1	無		フィードラインを改造し、サンプリング用弁を別の場所に設置・サンプリングすることで、この場所でサンプリングしないようにする。	***
	160	H課	(3)		クラッシャー		クラッシャー点検時等、落ち口に物を落とし、拾おうとして手を入れ巻き込まれる	重大災害	5	極めて高い	6	頻繁	3	14		2	無		点検口にリミットスイッチを設け、点検口をあけた場合は無条件でクラッシャーが停止するようにし、巻き込まれを無くする。	***
	164	I課	(3)	ホイスト	ホイスト作業		2階からの荷物上げ下ろし時、安全柵を外す必要あり	致命傷	10	高い	3	時々	2	15		1	無		ホイストレール設置位置を上げて荷が柵を越えられるようにする レール固定梁を強固なものに付け替え必要 対策により安全柵を外す必要がなくなる。	***
	174	J課	(3)		特水バルク積み込み		フレコン排出口の紐外し時フレコンの受け台がないので下敷きになる	致命傷	10	高い	3	時々	2	15		1	無		壁収納式受け台を設置	***
	185	K課	(3)		廃液ビット		ビット点検、液回収作業時落下	致命傷	10	有り	1	頻繁	3	14		1	無		正規の攪拌機取付け	***
	192	K課	(3)		助剤タンク		助剤投入時落下巻き込まれ	致命傷	10	高い	3	頻繁	3	16		1	無		歩廊の拡張、手摺必要	***
	243	K課	(3)		攪拌機		内部点検、スクラパー停止しHCLガス混入	致命傷	10	高い	3	時々	2	15		-	-		元スイッチ切+札掛け、入槽時はスクラパー行き手動弁を閉止、ソフト対策(入槽時閉止版ソフト挿入)	-
	244	K課	(3)	元弁	系雑水・元弁		手動弁の開閉作業(転落の危険性あり)手すりを乗り越えて操作	致命傷	10	高い	3	時々	2	15		1	無		配管の模様替え	***
	395	L課	(3)	溶解炉	炉傾動作		炉南側ビットが開口となり、通行時不注意で落ち込む	致命傷	10	高い	3	時々	2	15		4			傾動時立入り禁止標識取付け、及び巻き取り式ロープ設置	
	441	D課	(3)		TOP M/H開放		M/H開放時踊り場が狭く短い為、ハンマーを使って開放中、転落や道具の落下のおそれがある	致命傷	10	極めて高い	6	まれ	1	17					踊り場を伸ばす事で転落のおそれがなくなり、傷害の大きさが1点、可能性が0点になり、リスクレベルは になる。	***
	481	M課	(3)	DO計	指示誤差の点検		曝気槽へ転落し溺れる	致命傷	10	高い	3	時々	2	15		1	有	9月	歩廊拡張	***
	528	E課	(3)	新ラインキャスト	可動範囲での作業		可動機械によるはさまれ・巻き込まれ	致命傷	10	極めて高い	6	頻繁	3	19		最優先			固定柵・可動ゲート・タッチセンサー・保護カバー取付け	***

災害モード

: 墜落・転落	: 挟まれ・巻き込まれ	: 爆発
: 転倒	: 切れ・こすれ	: 破裂
: 激突	: 踏み抜き	: 火災
: 飛来・落下	: 高低温物接触	: 構内交通災害
: 崩壊・倒壊	: 有害物接触・中毒	: 腰痛など
: 激突され	: 感電	: その他